

かかりつけ歯科医機能の評価や歯科疾患管理料  
の評価の見直しの影響及び歯科疾患の継続的  
管理等の実施状況調査  
報告書(案) <概要>

# 調査の概要①

## 1 調査の目的

- 平成30年度診療報酬改定においては、かかりつけ歯科医療機能をより推進する観点から、歯科疾患の重症化予防に関する継続的管理や地域連携等の実績の評価等、かかりつけ歯科医療機能強化型歯科診療所の施設基準の見直しが行われた。また、ライフステージに応じた口腔機能管理を推進する視点から、歯科疾患管理料について、小児口腔機能管理加算、口腔機能管理加算の新設等が行われた。さらに、歯科医療機関における院内感染防止対策を推進する観点から、院内感染防止対策に関する施設基準の新設が行われた。
- 本調査では、このような診療報酬改定の内容を踏まえ、かかりつけ歯科医の機能の実態、施設基準別にみた診療を提供している患者の状況（ライフステージに応じた口腔機能管理の推進状況等）、および院内感染防止対策の推進状況等について調査を行い、改定の結果検証を行うことを目的とする。

# 調査の概要②

## 2 調査の対象と方法

- 本調査は、「施設票」、「患者票」の2種類を実施した。
- 施設票は、下表の歯科診療所を無作為に抽出して調査対象とした。
- 患者票は、施設票の調査対象となった歯科診療所に対し、下表の条件に沿って1施設あたり患者2名を無作為抽出し、対象患者に歯科診療所より調査票を手渡し、直接記入を求める形式とした。(回答後の調査票は、直接郵便にて返送)。

調査票の種類	件数
施設票	
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所	2,000件
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所	1,000件
患者票(1施設につき各2名:患者本人が直接記入)	
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の受診患者のうち、歯科疾患管理料を算定した患者	(最大)4,000件
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所の受診患者のうち、歯科疾患管理料を算定した患者	(最大)2,000件

- 調査実施時期は、令和元年7月～9月。

# 調査の概要③

## 3 回収の状況

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所を対象とした施設票の発送数は2,000件であり、有効回答数は942件、有効回答率は47.1%であった。かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所を対象とした施設票の発送数は1,000件であり、有効回答数は408件、有効回答率は40.8%であった。

また、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の受診患者を対象とした患者票の有効回答数は1,379件、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所の受診患者を対象とした患者票の有効回答数は459件であった。

		発送数	有効回答数	有効回答率
施設票				
	かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所	2,000件	942件	47.1%
	上記以外の歯科診療所	1,000件	408件	40.8%
患者票				
	かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所	-	1,379件	-
	上記以外の歯科診療所	-	459件	-

# 施設調査の結果①

＜歯科診療の実施体制および診療患者等について＞（報告書p16）

職員数についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の「歯科医師」は常勤が平均1.66人、非常勤が平均0.85人であり、「歯科衛生士」は常勤が平均2.90人、非常勤が1.51人であった。かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所の「歯科医師」は常勤が平均1.27人、非常勤が平均0.51人であり、「歯科衛生士」は常勤が1.56人、非常勤が平均1.03人であった。

図表 15 職員数(かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所)

(単位:人)

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.66	1.13	1.00	0.85	1.50	0.50
歯科衛生士	2.90	2.14	2.00	1.51	1.59	1.00
歯科技工士	0.42	0.71	0.00	0.06	0.27	0.00
専門職種(看護師、言語聴覚士、管理栄養士等)	0.17	0.58	0.00	0.06	0.34	0.00
その他(歯科助手を含む事務職)	2.16	2.07	2.00	1.43	3.02	1.00

図表 16 職員数(かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所)

(単位:人)

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.27	0.71	1.00	0.51	0.85	0.00
歯科衛生士	1.56	1.47	1.00	1.03	2.10	0.90
歯科技工士	0.19	0.48	0.00	0.02	0.15	0.00
専門職種(看護師、言語聴覚士、管理栄養士等)	0.04	0.19	0.00	0.01	0.08	0.00
その他(歯科助手を含む事務職)	1.68	1.38	1.00	1.01	1.52	1.00

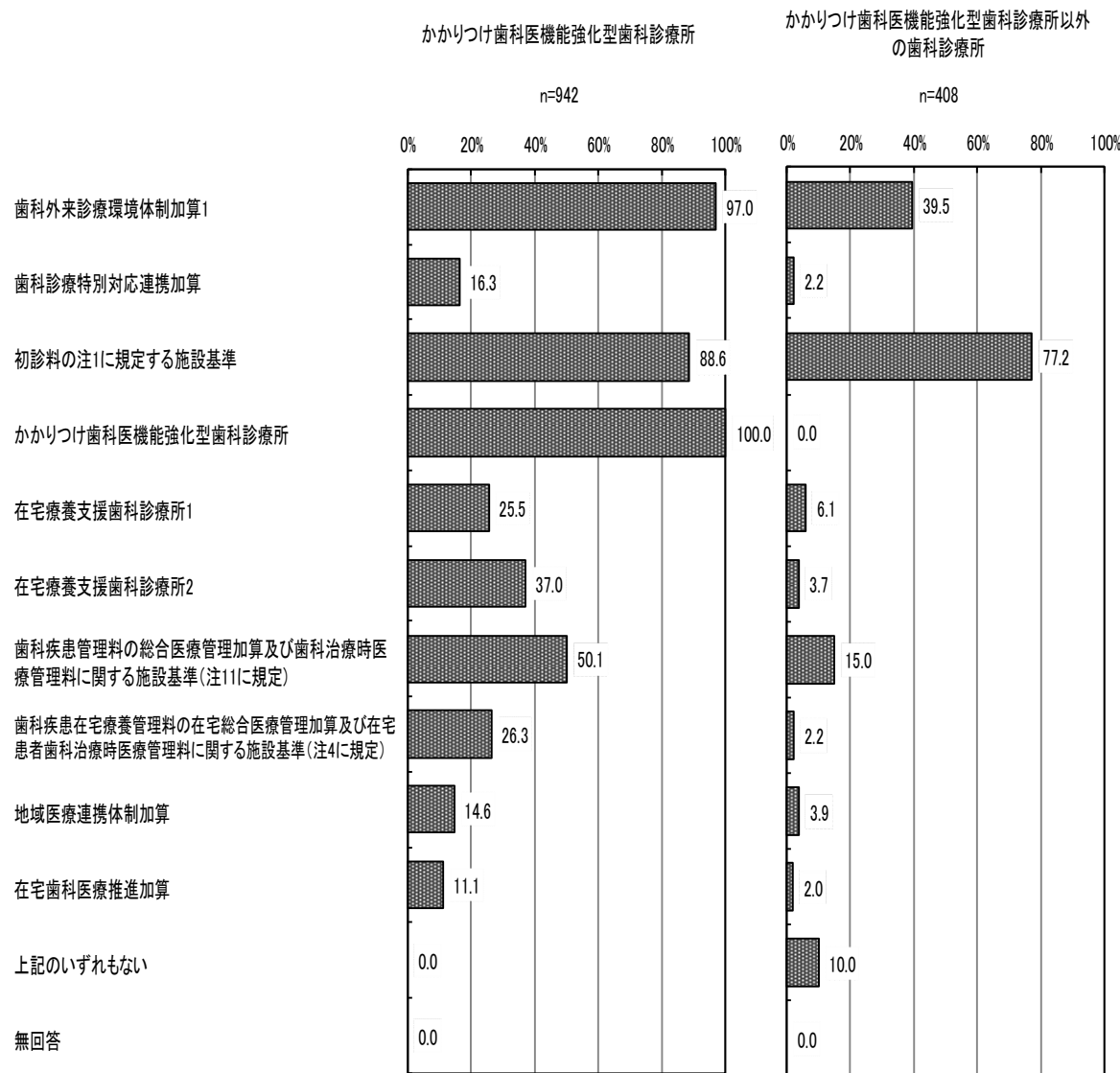
# 施設調査の結果②

＜施設の概要 施設基準＞（報告書p10）

施設基準(届出のあるもの)をみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では、「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」を除くと「歯科外来診療環境体制加算1」が97.0%と最も多く、次いで「初診料の注1に規定する施設基準」が88.6%であった。

また、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では、「初診料の注1に規定する施設基準」が77.2%で最も多く、次いで「歯科外来診療環境体制加算1」が39.5%であった。

図表 8 施設基準(複数回答)



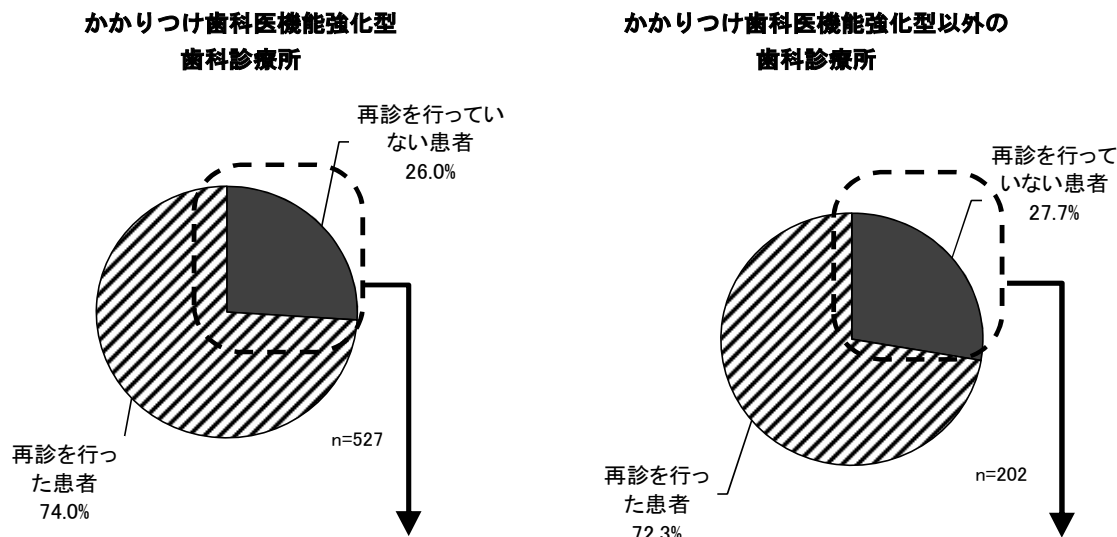
# 施設調査の結果③

## ＜歯科疾患管理料算定患者数の内訳等＞（報告書p28）

「歯科疾患管理料の算定患者数のうち、初診の患者数」に占める「再診を行っていない患者数」の割合をみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では26.0%、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では27.7%であった。

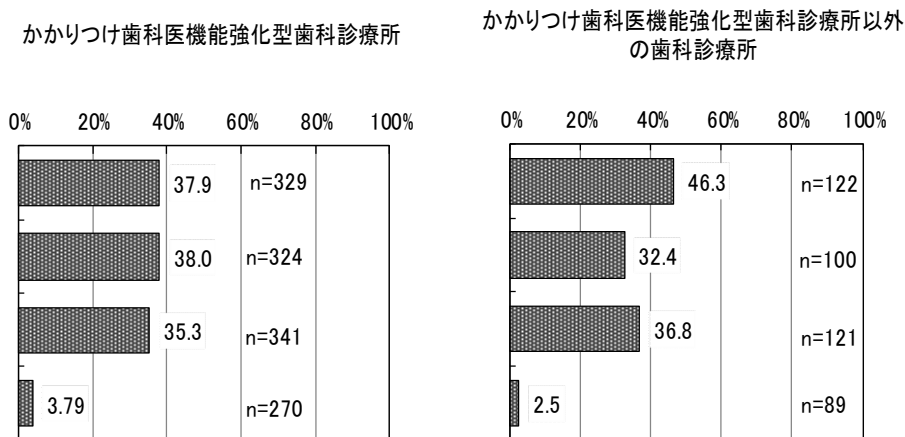
また、「再診を行っていない患者数」に占める「再診を行わなかった理由別人数」の割合をみると右記の通りであった。

図表 36 「歯科疾患管理料の算定患者数のうち、初診の患者数」に占める、「再診を行っていない患者数」の割合



※本集計は、施設単位で各割合を集計し、その平均値を集計しているため、分子、分母両方の回答があった施設を対象に集計を行っている。

図表 37 「再診を行っていない患者数」に占める「再診を行わなかった理由別人数」の割合



※本集計は、施設単位で各割合を集計し、その平均値を集計しているため、分子、分母両方の回答があった施設を対象に集計を行っている。

※複数の理由に該当する場合があるため、構成比の合計が100.0%を超える場合がある。

初診時の処置等に対する経過観察中であり、明確な予約日時を決めていなかったため  
 予定している次回再診日が本調査票記入日以降であるため  
 予約日時を決めたが患者が来院しなかったため  
 翌月以降に初診に該当する行為があり、再診料ではなく初診料を算定したため

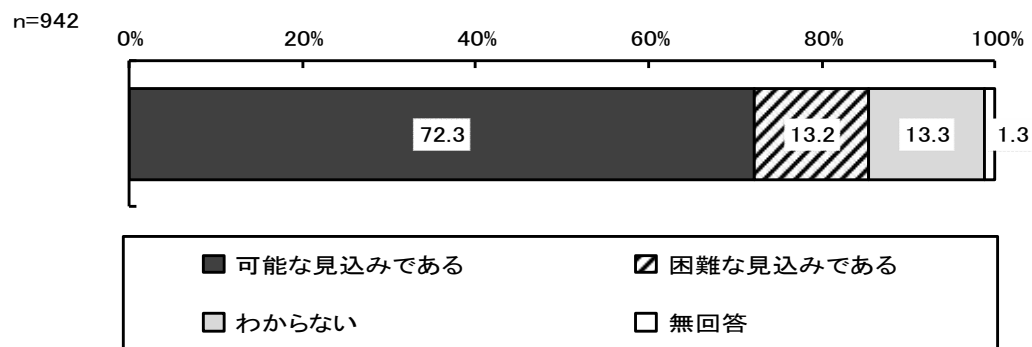
# 施設調査の結果④

＜「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の施設基準＞（報告書p11,12）

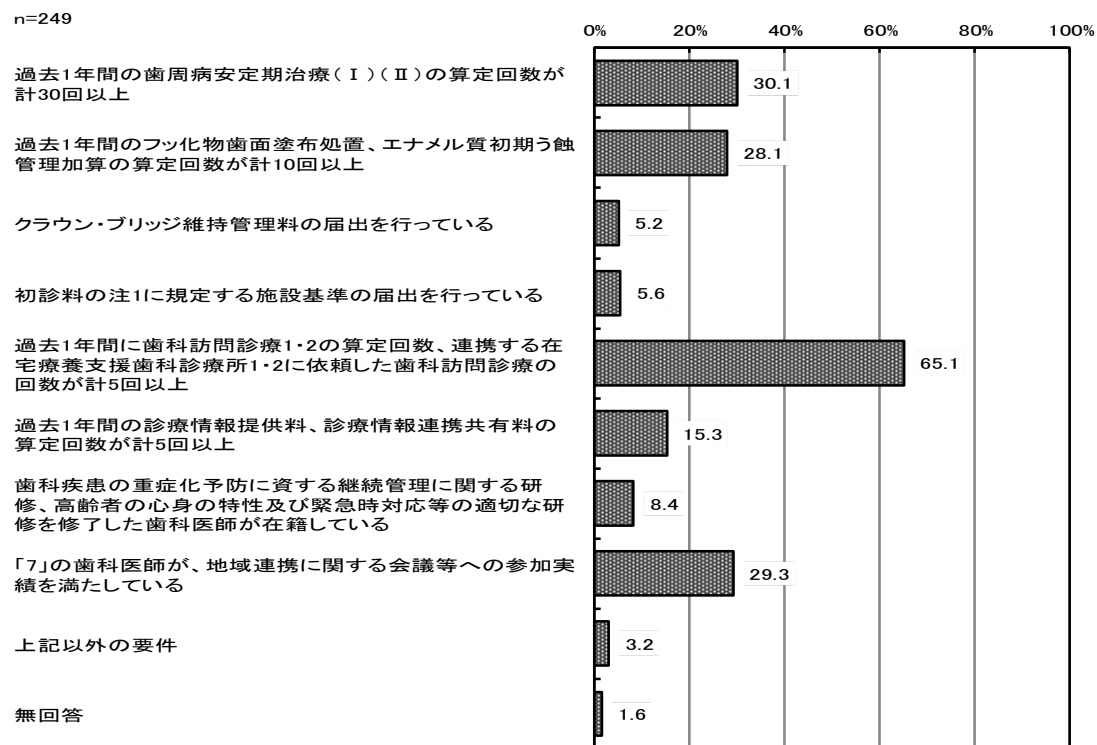
「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の施設基準の経過措置が終了する令和2年3月31日以降、新たな「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の施設基準を満たし届出を行うことの可能性についてみると、「可能な見込みである」が72.3%で最も多く、次いで「わからない」が13.3%であった。

経過措置後も対応が困難と考える項目についてみると、「過去1年間に歯科訪問診療1・2の算定回数、連携する在宅療養支援歯科診療所1・2に依頼した歯科訪問診療の回数が計5回以上」が65.1%で最も多く、次いで「過去1年間の歯周病安定期治療（Ⅰ）（Ⅱ）の算定回数が計30回以上」が30.1%、「歯科医師が、地域連携に関する会議等への参加実績を満たしている」が29.3%であった。

図表 10 新たな「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の施設基準を満たし届出を行うことが可能か



図表 11 現時点で該当せず、また施設基準の経過措置後も対応が困難と考える項目（複数回答）



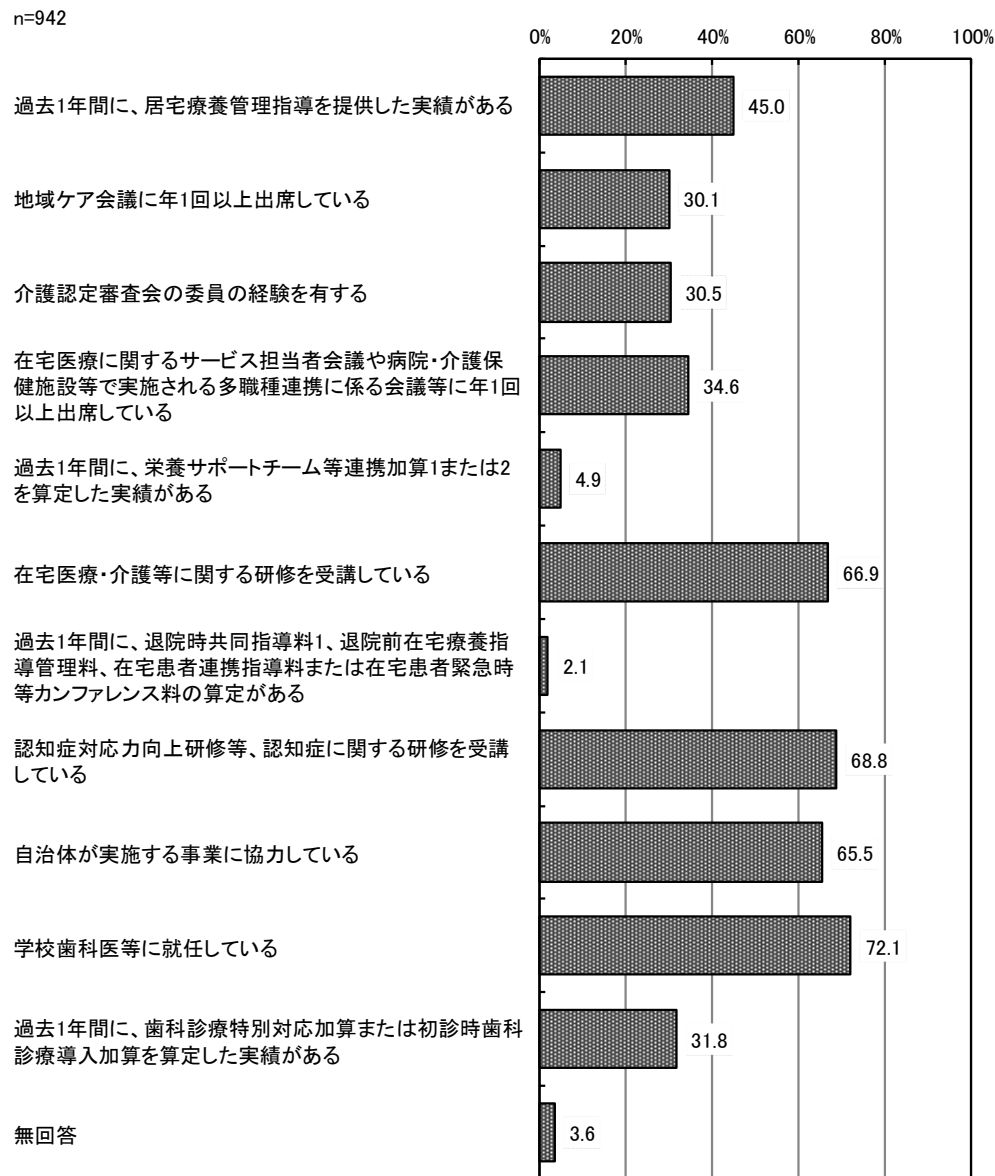


# 施設調査の結果⑤

＜適切な研修を修了した歯科医師について該当する項目＞（報告書p13）

歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修（口腔機能の管理を含む）、高齢者の心身の特性及び緊急時対応等の適切な研修を修了した歯科医師について該当する項目をみると、「学校歯科医等に就任している」が72.1%で最も多く、次いで「認知症対応力向上研修等、認知症に関する研修を受講している」が68.8%、「在宅医療・介護等に関する研修を受講している」が66.9%であった。

図表 12 歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修（口腔機能の管理を含む）、高齢者の心身の特性及び緊急時対応等の適切な研修を修了した歯科医師について該当する項目（複数回答）



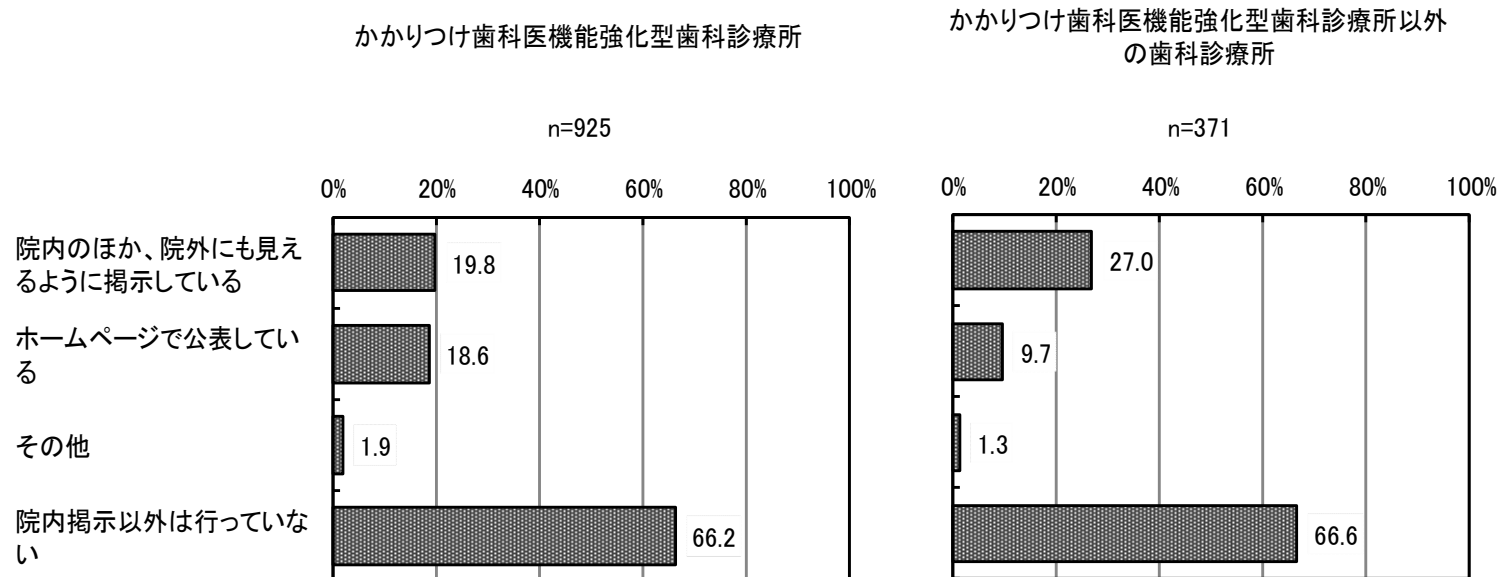
# 施設調査の結果⑥

＜歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準の届出を行っている場合の周知方法＞（報告書p21）

歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準に適合しているものとして届出を行っている場合の周知方法についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「院内掲示以外は行っていない」が66.2%で最も多く、次いで「院内のほか、院外にも見えるように掲示している」が19.8%であった。

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「院内掲示以外は行っていない」が66.6%で最も多く、次いで「院内のほか、院外にも見えるように掲示している」が27.0%であった。

図表 25 届出を行っている場合の周知方法



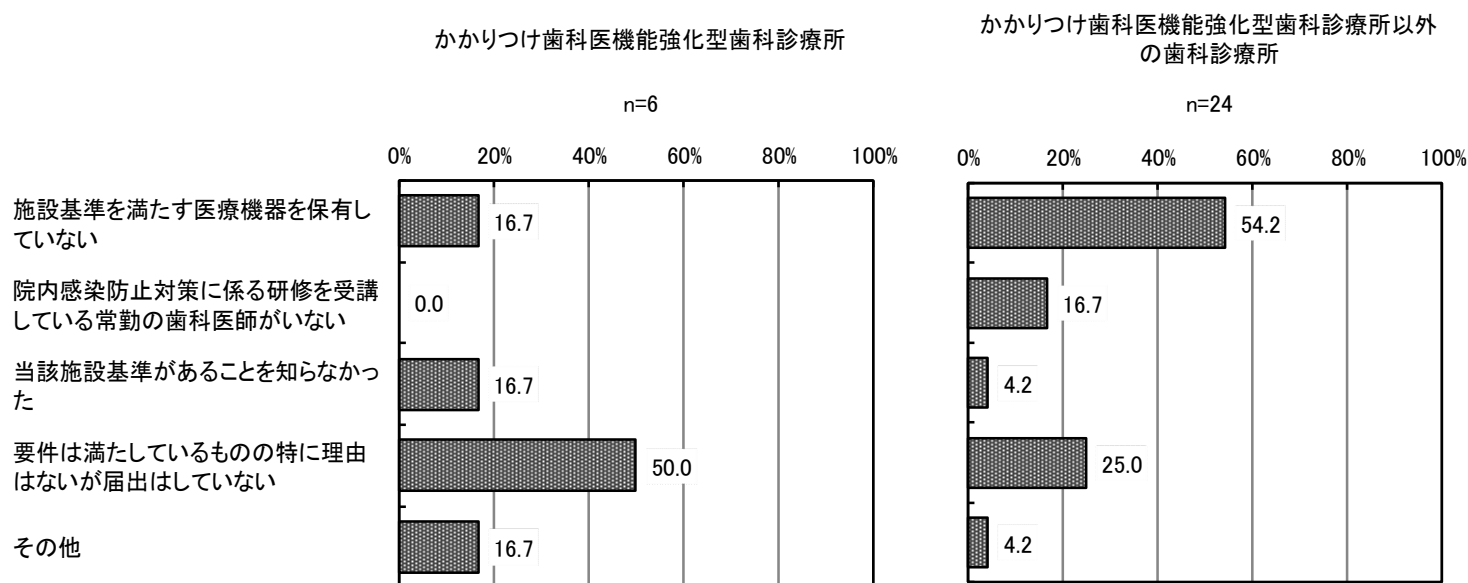
# 施設調査の結果⑦

＜歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準の届出を行っていない理由＞（報告書p22）

歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準の届出を行っていない理由についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「要件は満たしているものの特に理由はないが届出はしていない」が50.0%で最も多く、次いで「施設基準を満たす医療機器を保有していない」、「当該施設基準があることを知らなかった」がともに16.7%であった。

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「施設基準を満たす医療機器を保有していない」が54.2%で最も多く、次いで「要件は満たしているものの特に理由はないが届出はしていない」が25.0%であった。

図表 26 届出を行っていない理由



※「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の回答数は6と少ないため、解釈には留意が必要。

# 施設調査の結果⑧

## ＜小児口腔機能管理加算＞（報告書p31,33）

### 【小児口腔機能管理加算】

小児口腔機能管理加算の算定回数についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では平均3.28回、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では平均0.10回であった。

小児口腔機能管理加算の算定回数が0回の場合、算定していない理由についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「該当する患者がない」が40.8%で最も多く、次いで「算定要件がよくわからない」が33.2%であった。

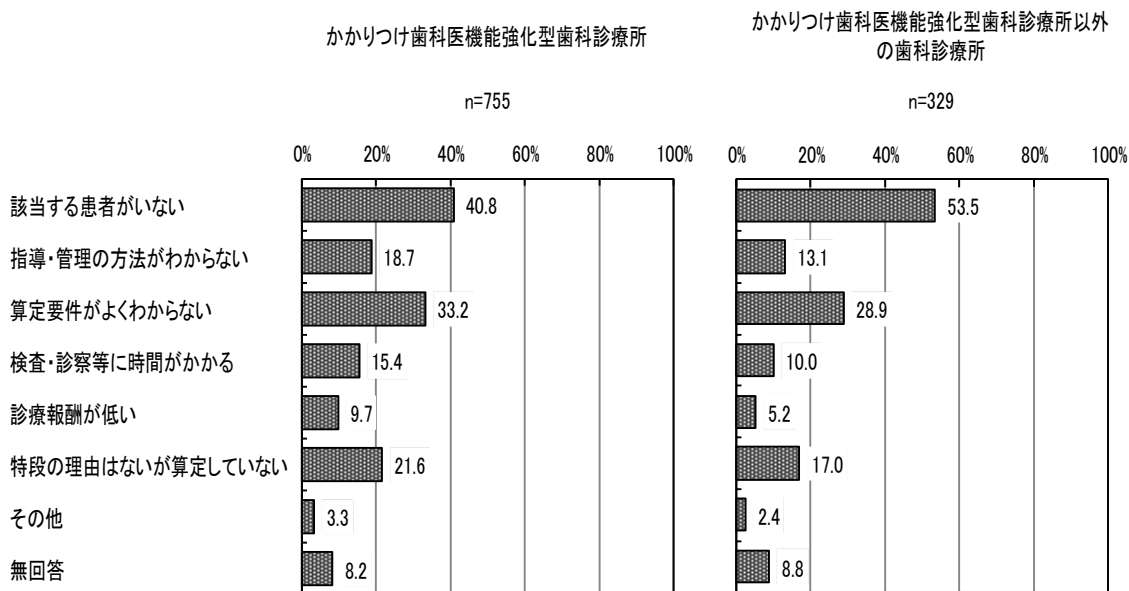
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「該当する患者がない」が53.5%で最も多く、次いで「算定要件がよくわからない」が28.9%であった。

図表 42 歯科疾患管理料 小児口腔機能管理加算の算定回数

(単位:回)

	かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所			かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科疾患管理料 小児口腔機能管理加算の算定回数	3.28	30.42	0.00	0.10	1.14	0.00

図表 44 (小児口腔機能管理加算の算定回数が0回の場合)算定していない理由(複数回答)



# 施設調査の結果⑨

## <口腔機能管理加算> (報告書p33,34)

### 【口腔機能管理加算】

口腔機能管理加算の算定回数についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では、平均3.66回、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では平均1.70回であった。

算定回数が0回の場合、算定していない理由についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「診断に必要な機器を持っていない」が41.5%で最も多く、次いで「該当する患者がない」が24.7%であった。

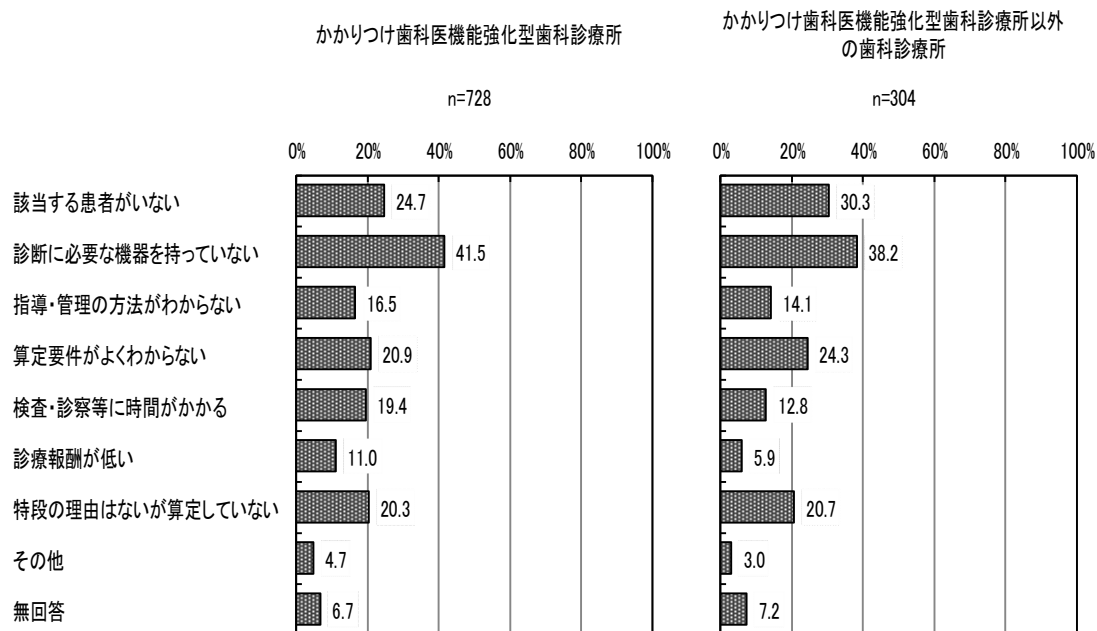
かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「診断に必要な機器を持っていない」が38.2%で最も多く、次いで「該当する患者がない」が30.3%であった。

図表 45 歯科疾患管理料 口腔機能管理加算の算定回数

(単位:回)

	かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所			かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科疾患管理料 口腔機能管理加算の算定回数	3.66	28.68	0.00	1.70	14.12	0.00

図表 47 (口腔機能管理加算の算定回数が0回の場合)算定していない理由(複数回答)



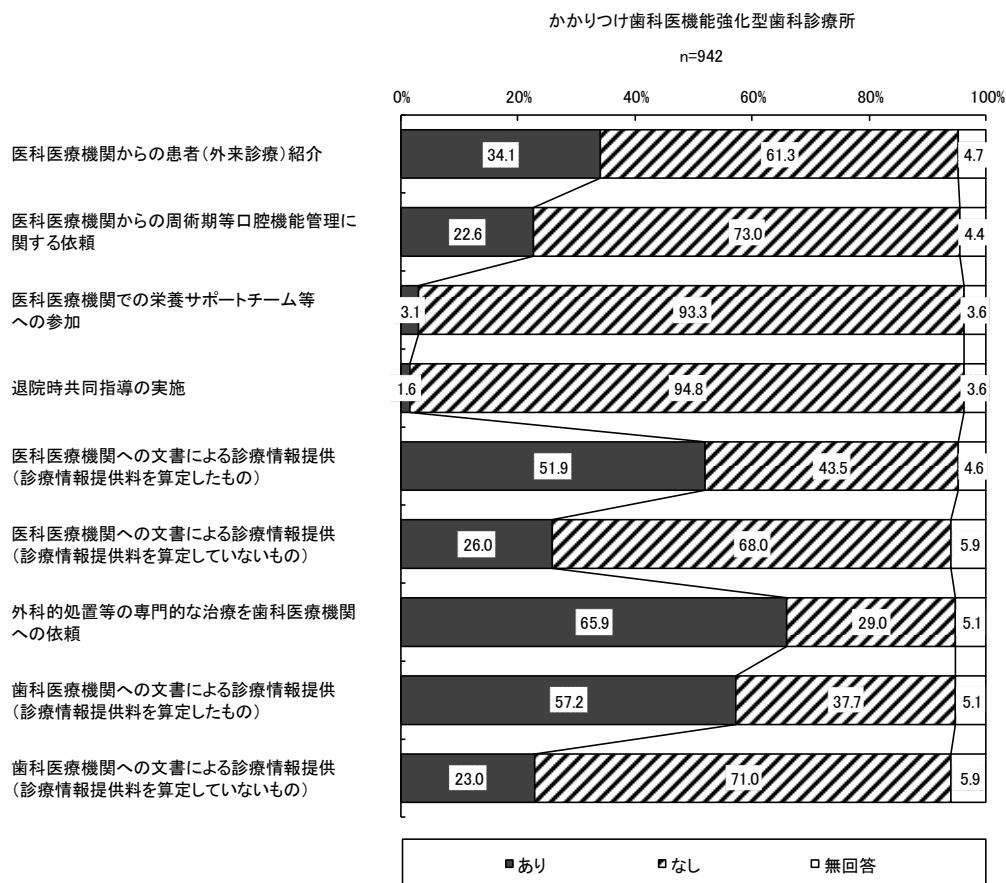
# 施設調査の結果⑩

＜医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等の状況＞（報告書p38,39）

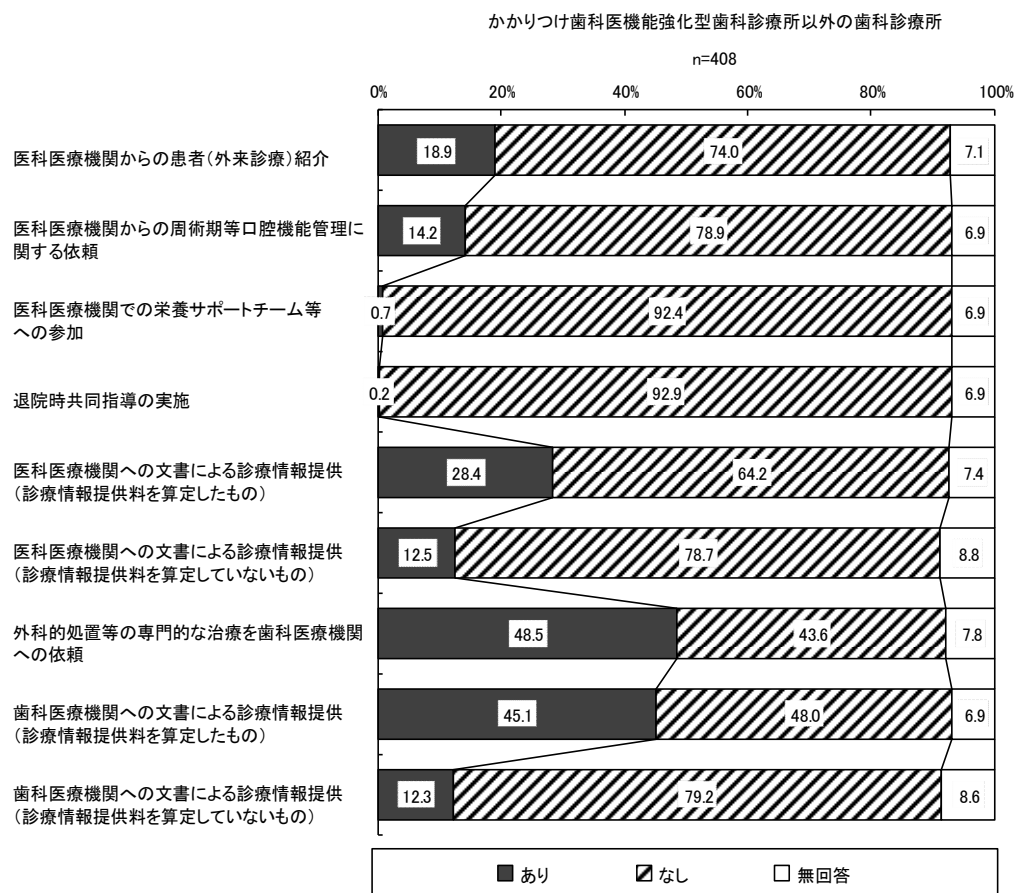
医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等の状況について、「あり」と回答した取組についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「外科的処置等の専門的な治療を歯科医療機関へ依頼」65.9%、「歯科医療機関への文書による診療情報提供（診療情報提供料を算定したもの）」57.2%の割合が高くなっていた。

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「外科的処置等の専門的な治療を歯科医療機関へ依頼」48.5%、「歯科医療機関への文書による診療情報提供（診療情報提供料を算定したもの）」45.1%において割合が高くなっていた。

図表 52 医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等の状況（かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所）



図表 53 医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等の状況（かかりつけ歯科医機能強化型歯科以外の歯科診療所）



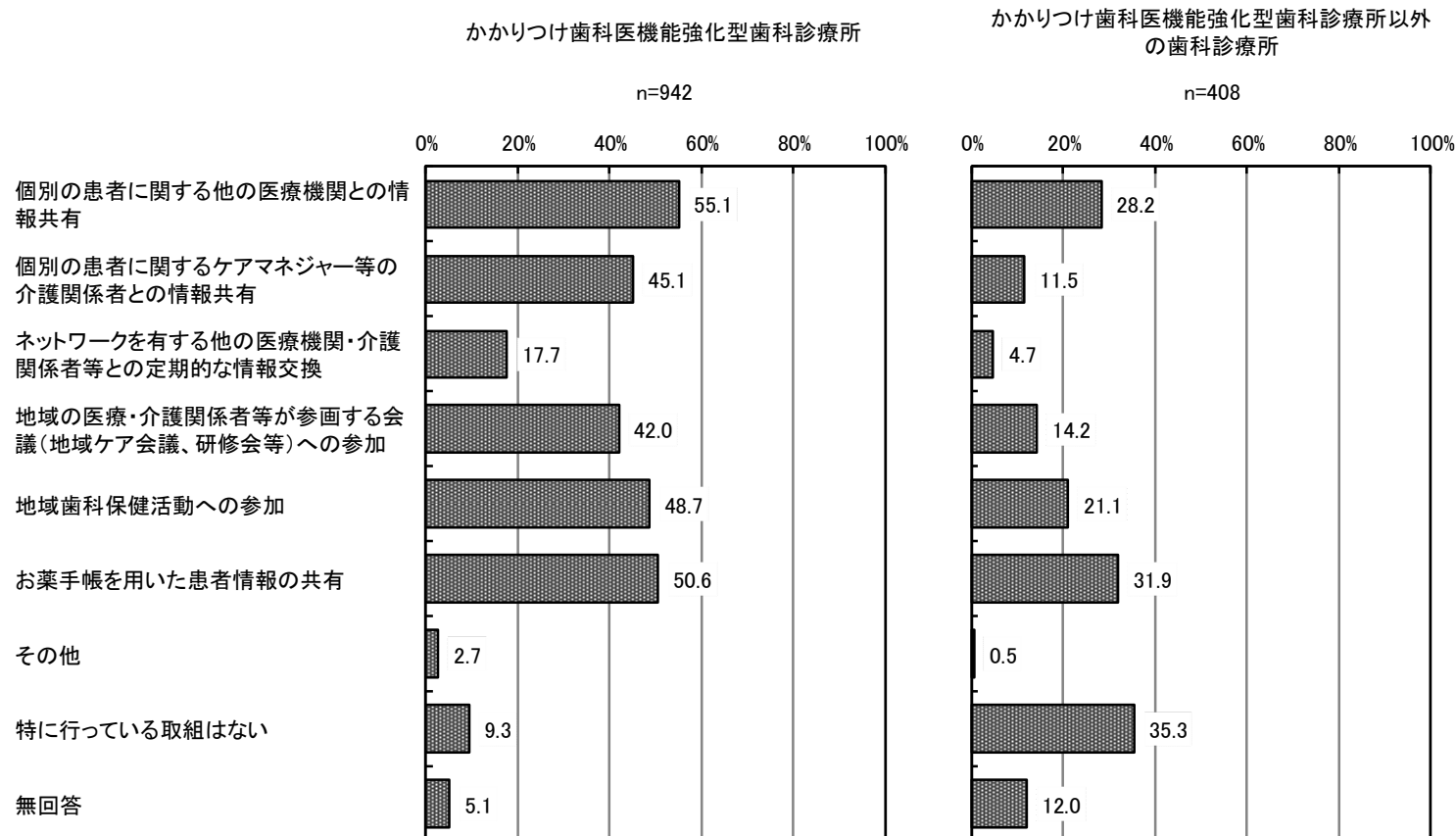
# 施設調査の結果⑪

＜地域における在宅医療・介護を推進するために取り組んでいる内容＞（報告書p45）

地域における在宅医療・介護を推進するために取り組んでいる内容についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「個別の患者に関する他の医療機関との情報共有」が55.1%で最も多く、次いで「お薬手帳を用いた患者情報の共有」50.6%であった。

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所以外の歯科診療所では「特に行っている取組はない」が35.3%で最も多く、次いで「お薬手帳を用いた患者情報の共有」31.9%であった。

図表 59 地域における在宅医療・介護を推進するために取り組んでいる内容(複数回答)



# 患者調査の結果①

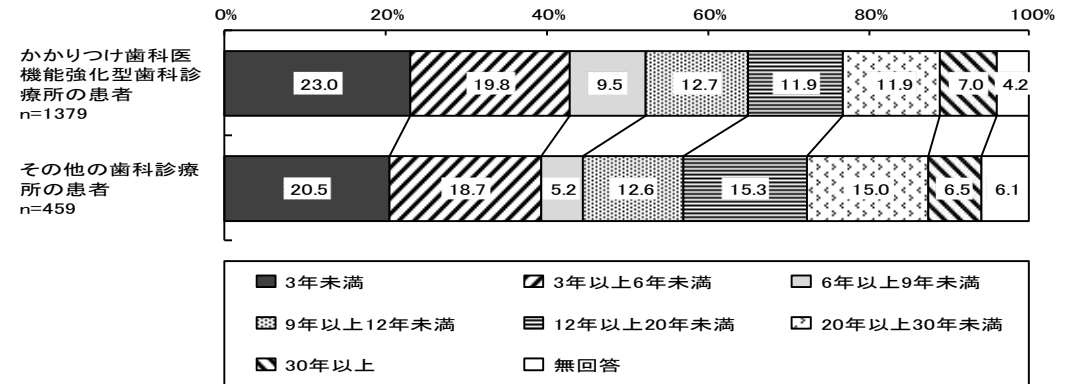
＜当該歯科診療所を選んだ理由等＞（報告書p52,54）

当該歯科診療所を最初に受診してからの期間についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「3年未満」が23.0%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が19.8%であった。その他の歯科診療所では「3年未満」が20.5%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が18.7%であった。

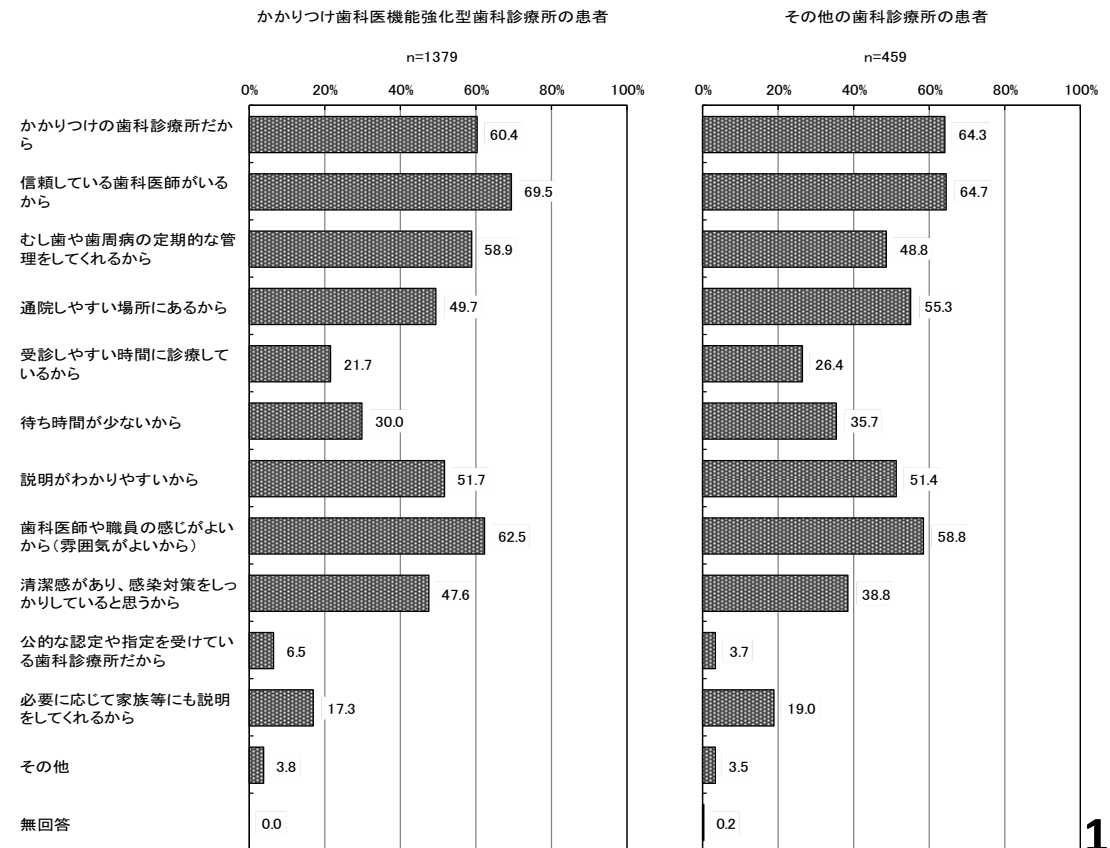
当該歯科診療所を選んだ理由についてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では「信頼している歯科医師がいるから」が69.5%と最も多く、次いで「歯科医師や職員の感じがよいから（雰囲気がいいため）」が62.5%、「かかりつけの歯科診療所だから」60.4%、「むし歯や歯周病の定期的な管理をしてくれるから」58.9%であった。

その他の歯科診療所では、「信頼している歯科医師がいるから」が64.7%と最も多く、次いで「かかりつけの歯科診療所だから」64.3%、「歯科医師や職員の感じがよいから（雰囲気がいいため）」58.8%、「通院しやすい場所にあるから」55.3%であった。

図表71 歯科診療所の受診期間



図表73 この歯科診療所を選んだ理由（複数回答）





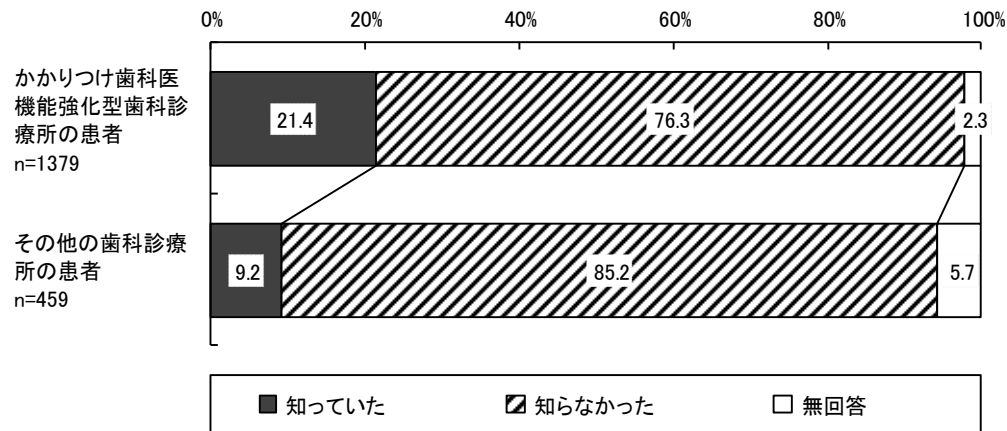
# 患者調査の結果②

＜「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の認知度＞（報告書p55,56）

「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」があることを知っていたかについてみると、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所では、「知っていた」が21.4%であった。その他の歯科診療所では、「知っていた」が9.2%であった。

また、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所において、患者が、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所であることをどのように知ったかについては、「歯科診療所提供している情報」が52.5%と最も多く、次いで「歯科診療所のスタッフからの説明」が37.6%であった。なお、その他としては、待合室の掲示等があげられていた。

図表 75 「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」があることの認知



図表 76 「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」を知った経緯（複数回答）

